

R. I. District 2610. ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ会報誌

2013-2014年度 RI会長 ロン D. パートン

2013-2014年度 魚津RC会長 若井 貞克



第2894回 例会報告

2013年11月1日



- ・点鐘・握手
- ・君が代斉唱
- ・ロータリーソング「奉仕の理想」
- ・四つのテスト唱和



ゲスト並びにビジターの紹介 なし

誕生祝 なし

開会挨拶 若井会長

皆さんこんにちは。今日から11月ロータリーではロータリー財団月間です。財団月間とは後ほど大城さんの卓話で詳しく話が聞けるとと思います。簡単に言えば、我々ロータリアンが資金を寄付し世界の教育支援や貧困を救済し世界の親善、平和を達成できるようにする。

全会員にRC財団に寄付呼びかける月という事です。ポール・ハリス・フェローそのうえが、マルチプルが頭に付きます。強制ではありませんが少しずつ貯めて1,000ドルにして寄付する。ぜひ皆様も挑戦してみてください。



幹事報告

愛宕幹事

★ガバナー事務所より

- ・ガバナーノミニー候補の告知について

★青少年育成魚津市民会議より

- ・優良団体表彰事業の募集について
- ・「子供・若者育成支援強調月間」特別研修会の開催について

★11月例会案内

10日 早朝例会（海の駅蜃気楼）

6時30分 点鐘

15日 卓話 谷川さん（サンルート）

22日 卓話 関口さん（サンルート）

29日 卓話 辻(浩)さん（サンルート）

★11月SAA補助・・・大城さん、小浜さん、中川さん



出席報告

三島委員長

★本日の出席者 27名 欠席者 10名

出席率 72.97%

メイクアップ済 中田さん

★第2891回のメイクアップ なし

ニコボックスの報告

寺田委員長



★若井会長

今日は11月1日。元気のでる日

★寺田さん

10月30日で富山県護国神社での指定神社実習が終わりました。これからは、ただひたすら神明に奉仕します。会員にも宮津八幡宮の氏子さんが沢山いらっしゃいますので、今後ともよろしくお願ひします。

委員会報告

「ロータリーの友」の紹介

子どもたちと一緒に

魚津工業高校IAC

「小学生を対象にしたものづくり教室で、インターアクトが先生となり、白い紙の上に引かれた黒線に沿って自動的に走る模型自動車「ライントレースカー」を子供たちと一緒に作りました。・・・年末には今年で20年目となる歳末助け合い募金活動をロータリアンとともにに行っています。」の記事を中心に紹介された。

三島広報委員



ロータリー財団

★ロータリー財団と使命と標語

《使命》ロータリアンが人々の健康状態を改善し教育への支援を高め、貧困を救済する事を通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにする事。

《標語》世界でよいことをしよう。

★世界のロータリークラブ

- | | | |
|---|----------------|-----------|
| 1 | 全世界ロータリアン総数 | 121万567人 |
| 2 | 全世界の地区数 | 537地区 |
| 3 | 全世界のクラブ数 | 34,380クラブ |
| 4 | 国と地域 | 200以上 |
| 5 | 日本のロータリアン総数 | 88,515人 |
| 6 | 日本のクラブ数 | 2,278クラブ |
| 7 | 2610地域ロータリアン総数 | 2,688人 |
| 8 | 2610地域クラブ数 | 66クラブ |



★ロータリー財団のプログラム

教育的プログラム、人道的補助金プログラム、ポリオ・プラスプログラム(2011～2012年度にて当地区として寄付目標は達成)

★寄付の種類 {手続P81}

年次基金⇒⇒⇒⇒3年後に寄付額の半分が地区の活動資金となる

恒久基金⇒⇒⇒⇒基金は使用せず運営収益を活動資金に

使途指定基金⇒⇒国際親善奨学金、世界平和フェロー、ポリオ・プラスへ指定可

(東日本震災基金は2012年6月終了、6億7千万円集め補助金として利用)

「未来の夢計画」(2013年～2014年7月より全地区で完全実施)

(2017年にロータリー財団創立100年)クラブへのみ効果・影響



- 1 地域財団活動資金の使途の自由度が増すので、社会奉仕活動等に地域補助金を活用し易くなる。
- 2 前年度から事業計画策定が必要。

★奉仕活動と資金調達は車の両輪

- 1 人類は1つです。世界中の貧困や餓が減少し、社会が向上し、世界が平和にならない限り、私達の真の平和はありません。

- 2 私達、ロータリー財団が地域社会や国際社会への奉仕を更に強化増大していくためには、奉仕活動の充実と資金面での援助が大変重要になる。

ロータリー米山記念奨学会

I クラブ米山記念奨学会とは

- ① 奨学事業の理解促進
 - ・ 10月は米山月間
 - ・ 奨学生や学友(元米山記念奨学生)との懇親会や活動の様子の報告等
- ② 寄付増進
- ③ 奨学生、学友との交流促進と広報



II 事業理解のために

ロータリー米山記念奨学事業『豆辞典』の活用

- ① 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会とは {豆辞典 P 3～P 4}
 - ・ 日本の全ロータリー地区が共同体でつくり運営する奨学財団
 - ・ 奨学金の支給対象は日本の大学・大学院で学ぶ外国人留学生
- ② 米山記念奨学会のあゆみ {豆辞典 P 3～P 4}
 - ・ 60年の歴史を持つ日本のロータリー独自の国際奨学事業
 - ・ 内閣府より公益財団法人の許可を得る
- ③ 米山記念奨学会の特長 {豆辞典 P 5～P 6}
 - “民間外交として世界に平和の種子を蒔く” 留学生への支援は、未来に向けて平和の懸け橋をかける。
 - ・ 国際ロータリーの認める他地区合同活動
 - ・ 事業の神髄・・・世話クラブ、カウンセラー制度
 - ・ 民間最大の国際奨学事業(年間の奨学生採用数約 700人)



- ④ 寄附金と財政の状況 {豆辞典 P 7～P 8}
- ⑤ 米山記念奨学会への寄付 {豆辞典 P 9～P 14}
- ⑥ 米山学友の活躍 {豆辞典 P 15～P 21}
- ⑦ 地域別割当数 {豆辞典 P 22～P 23}
- ⑧ 奨学金プログラム {豆辞典 P 24～P 26}